

2 国有林の維持と保存

(1) 国有林の適切な保全管理への取組み

森林の巡視や保全活動の実施

ア 巡視などによる国有林の保全

北海道森林管理局では、国有林での山火事の発生、高山植物の盗採掘、ゴミの不法投棄などを防ぐため、地元のボランティアの皆さんなどの協力を得て、巡視や清掃活動を行っています。ゴミの不法投棄などの犯罪が発生した場合には、地元の市町村や警察などと連携して再発の防止に努めています。

地域と連携したゴミの不法投棄防止活動

いぶり胆振東部森林管理署（しらおい白老町）では、とまこまい管内苫小牧市の水源地域である森林の整備活動などを行うため、平成 18 年度から苫小牧市内の行政機関などで構成する「水を汚染から守る会」に参画し、地域と連携した取組みの強化を行っています。

平成 20 年度における「水を汚染から守る会」主催の活動では、水源地域における植樹や不法投棄物収集活動を行いました。



不法投棄物収集活動の様子

実施場所：苫小牧市（胆振東部森林管理署管内）

イ グリーン・サポート・スタッフの配置

観光客や登山客が集中する知床半島や大雪山などでは、踏み荒らしによる登山道周辺の植物の減少などが心配されるとともに、降雨や融雪などにより登山道などが荒廃している箇所も見られます。このため北海道森林管理局では、平成 20 年度も引き続き、これらの地域に「グリーン・サポート・スタッフ」を配置しました。

グリーン・サポート・スタッフの活動

北海道森林管理局では、登山者などの集中による植生の荒廃などを防止するため、平成 18 年度より知床世界自然遺産地域、大雪山系、札幌近郊の国有林などにグリーン・サポート・スタッフを配置しています。平成 20 年度は「雌阿寒・オンネトー」及び「恵山」の 2 地域を追加するなど、合計 12 森林管理（支）署の 15 地域にグリーン・サポート・スタッフを配置しました。

各地のグリーン・サポート・スタッフは入林者に対し、利用マナーの向上や携帯トイレの普及・啓発をはじめ、ゴミの不法投棄防止や希少な植物等の踏み荒らし・盗掘防止のためのパトロール、登山道の簡易な修繕など、きめ細やかな活動を行いました。

グリーン・サポート・スタッフ活動状況

森林管理 (支)署	活動地域	配置 人員	延べ活 動日数
石狩	豊平川上流	2	104
留萌南部	暑寒別・留萌	2	104
宗谷	利尻島、礼文島	4	373
上川中部	大雪山	6	167
上川南部	十勝連峰及び夕張山系	2	182
網走南部	知床（斜里）	5	502
根釧東部	知床（羅臼）	2	236
根釧西部	阿寒・別寒辺牛	11	165
十勝東部	雌阿寒岳・オンネトー	2	82
東大雪	東大雪山	2	60
後志	ニセコ山地、ブナ北限地帯	2	174
渡島	恵山	2	50
合計		42	2,199

注：平成 20 年度実績



登山のマナー向上を呼びかける
グリーン・サポート・スタッフ



国有林の利用マナーガイドを配布する
グリーン・サポート・スタッフ

写真上：上富良野町（上川南部森林管理署管内富良野岳）

写真下：足寄町（十勝東部森林管理署管内オンネトー湖）

保安林の適正な管理

北海道内の国有林のうち、水を貯えたり土砂崩れを防ぐ上で重要な森林は、森林法に基づき、農林水産大臣が「保安林」に指定しています。

平成 20 年 4 月現在、北海道国有林の 93 % に当たる約 286 万 ha が保安林に指定されており、北海道森林管理局では、森林整備や治山ダムの設置などを進めています。

北海道国有林の保安林指定状況

区分	箇所	面積 (ha)	区分	箇所	面積 (ha)
水源かん養保安林	506	2,238,974	防霧保安林	5	8,720
土砂流出防備保安林	251	520,038	なだれ防止保安林	3	86
土砂崩壊防備保安林	113	11,651	落石防止保安林	6	179
飛砂防備保安林	6	794	魚つき保安林	22	3,874
防風保安林	111	17,953	航行目標保安林	2	16
潮害防備保安林	7	1,547	保健保安林	186	119,449
干害防備保安林	66	28,002	風致保安林	21	3,985

注：平成 20 年 4 月現在。重複指定あり。

えりも岬海岸防災林造成事業

えりも岬国有林は、かつて「えりも砂漠」といわれたほど荒廃していた土地を長い歳月をかけ復興回復させた森林です。

日高南部森林管理署（新ひだか町）では、昭和 28 年から海岸林の造成を行ってきており、現在も植林、手入れなどを進めています。

平成 20 年度には、植栽工約 2ha のほか、下刈約 29ha、除伐約 4ha などの森林整備を行いました。



復興前後の写真

実施場所：えりも町（日高南部森林管理署管内えりも岬国有林）

(2) 優れた自然環境を有する森林の維持・保存

保護林^{*1}の設定と保全・管理

北海道内の国有林には、原始的な森林や貴重な野生生物が生息・生育する森林が多く分布しています。北海道森林管理局では、このような貴重な森林を「保護林」に設定し、適切な管理に努めています。

北海道国有林での保護林の設定状況

種 類	目 的	箇所	面積(ha)
森林生態系保護地域	森林生態系の保存、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保存	5	129,215
森林生物遺伝資源保存林	森林生態系を構成する生物全般の遺伝資源の保存	1	5,400
林木遺伝資源保存林	林業樹種と希少樹種の遺伝資源の保存	139	2,667
植物群落保護林	希少な高山植物、学術上価値の高い樹木群等の保存	63	48,551
特定動物生息地保護林	希少化している野生動物とその生息地・繁殖地の保護	16	12,285
特定地理等保護林	岩石の浸食や節理、温泉噴出物、氷河跡地の特殊な地形・地質の保護	4	14
郷土の森	地域の自然・文化のシンボルとしての森林の保存	1	17
計		229	198,150

注：平成 20 年 4 月現在。計の不一致は四捨五入による。

ガルトネル^{*2}・ブナ林の保全整備及び普及啓発

渡島森林管理署（八雲町）では、関係市町村や林業関係者、研究機関と連携して、植物群落保護林に指定しているガルトネル・ブナ林の保全整備に取り組んでいます。

平成 20 年度には、林内保全及び入林者の安全確保などを目的として、ログハウス周辺に砂利・ウッドチップ敷設を実施しました。

また、入林者の保全・保護意識を高めるため、パンフレットを作成しました。



ウッドチップ敷設の様子



作成したパンフレット

実施場所：七飯町（渡島森林管理署管内桜町国有林）

*1 保護林とは、大正 4 年（1915 年）に発足した国有林独自の制度で、天然林等を貴重な自然環境として適切に保護するために設定された区域。

*2 ガルトネルとは、明治 2 年（1869 年）に現在の保護林にブナを植栽したドイツ人の名。

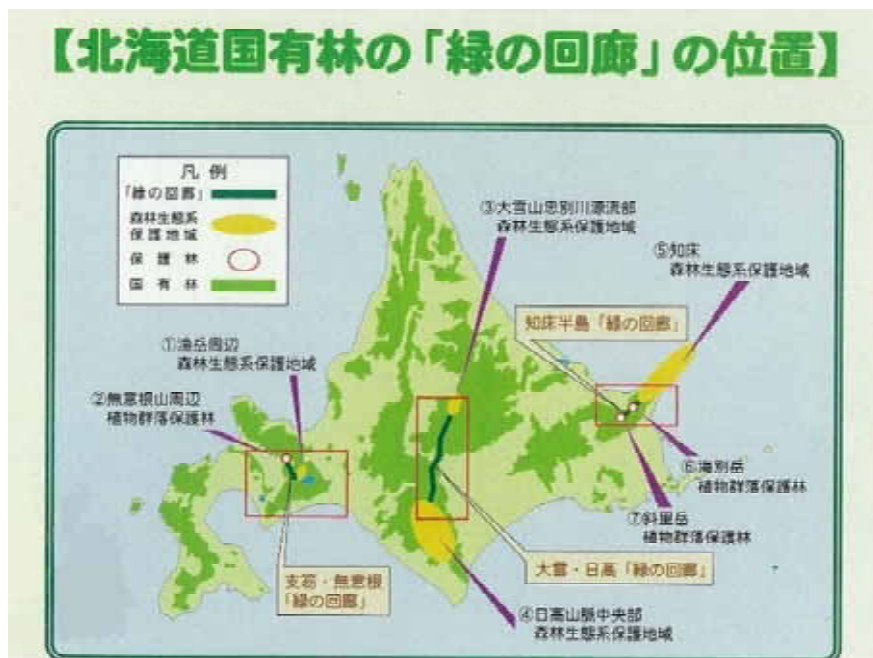
かいろ
「緑の回廊」の設定と取組み

北海道森林管理局では、野生生物の生息・生育地を結ぶ移動経路の確保により、種の保全や遺伝的な多様性を確保するため、保護林相互を連結してネットワークを形成する「緑の回廊」を設定するとともに、野生生物の生息・生育状況についてモニタリングを行っています。

「緑の回廊」の設定状況

名 称	面積 (ha)	延長 (km)	場 所 等
しれとこ 知床半島緑の回廊	12,397	36	しゃり 斜里町、らうす 羅臼町ほか
ひだか 大雪・日高緑の回廊	19,270	83	みなみふらの 南富良野町、日高町ほか
しこつむいね 支笏・無意根緑の回廊	7,031	30	さっぽろ 札幌市、きょうごく 京極町ほか
計	38,699		

注：平成 20 年 4 月現在。計の不一致は四捨五入による。



野生生物の保護管理への取組み

北海道森林管理局では、国有林内に生息する貴重な鳥類や植物などを保護するため、それぞれの生息・生育場所周辺での森林の取扱方針を定めるとともに、森林管理（支）署では巡視などを行っています。

希少野生動植物保護管理事業（レブンアツモリソウ）

宗谷森林管理署（稚内市）では、希少なレブンアツモリソウの群生地のある一定区域を保護林として設定し、群生地の保護や盗掘の防止を図るため、巡視活動などを行っています。

平成 20 年度においても、レブンアツモリソウ群生地保護林及びその周辺地域の巡視を行い、盗掘防止柵の維持管理や群生環境の保全などに努めました。



保護林説明看板



レブンアツモリソウ

実施場所：礼文町（宗谷森林管理署管内礼文国有林）